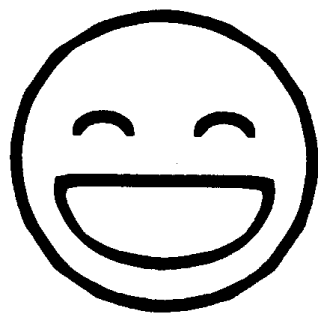


HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀



「障」ちゃん



NO.310

冒頭の一言

暦の上では春といわれながらも、長く寒さが残りました。それでも最近では冬の気配がようやく薄れ、日差しのやわらかさに春を実感できる日が増えてきました。

4月は、新しい一歩を踏み出す季節です。街では、新入生や新社会人のフレッシュな姿を見かけることも多く、背筋が伸びるような気持ちと、かつての自分を思い出して懐かしくなる気持ちが入り混じる、どこか不思議な感覚になります。

この『障ちゃんニュース』が、皆さんにとってフレッシュで穏やかなひとときを届けられる存在であり続けられるよう、これからも丁寧に発信していきたいと思っております。

ゆき

—もくじ—

冒頭の一言 … 1

『優生保護法とわたしたちの子育て』の Zoom に参加して… 2-4

2026 年 3 月 10 日障害者部会報告 … 5

Penko … 6-7 ありがとうコーナー … 8

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一〇回(一、三、五、八、一〇、一五、二〇、二五、三〇、三五、四〇)発行

『優生保護法とわたしたちの子育て』の Zoom に参加して

中村かおる

3月8日に『優生保護法とわたしたちの子育て』主催の Zoom で語り合おうに参加しました。

この Zoom 会議には2回目の参加です。2月に入ってから、この会の方から「今度はメインで30分間話をしてほしい。」と言われ、自信がなかったので質問形式にしてもらい、何とか30分間話させてもらいました。

以下、Q & Aを記します。

(Q) 生い立ちを語ってください。

(A) 私は 1958 年、富山県魚津市で生まれた。

生まれて間もなく、新生児黄疸が重く出て、高い熱が続いた。

その熱の影響で、脳性麻痺になった。だが、幼いころの私は、自分を「障害者」だと思ったことはなかった。歩くことはできなかったが、それは不便でも不幸でもなく、ただの私の日常だった。

歩けなくても、これが私の「普通」だと自然に受け止めていた。

(Q) 施設や学校の生活は？

(A) 学園へ入園した時は、自分と同じような子供たちが大勢いたので嬉しかったが、日がたつにつれ淋しくなってきた。なんで弟は家で母の作ったご飯を食べているのに、私は親元を離れて冷たいご飯を食べているのだと悲しくなった。

(Q) 手術について、語れる範囲で教えてください。

(A) 直接、私に言われた訳ではないが、同室の寝たきりだった人に職員が「赤ん坊も産めないのにこんなものだけいっちょ前にあって、世話やね！」と毎月言われていたのを聞いていて、私に言われているような気がした。自分も赤ちゃんは産めないと思っていたのと、施設を出て自立したいという思い

もあったし、「こんなもん要らんわ。」と思った。

(Q) 施設での性教育はどうでしたか？

(A) 別に性教育はなかったです。「セックスって何？」と先生に聞いたら、違う答えでごまかされた。雑誌や友達との話しの中などで分かってきた。

(Q) 自立生活を始めようと思ったきっかけは何？

(A) 施設で仲間と話している中で、「今度、社会見学どこへ行く？」という話になり、ある人が「私、コンビニに行ったことないからコンビニへ行きたい。」と言ったのを聞き、私は週一で実家に帰っていたのでコンビニは何度も行っていたので、「コンビニへ行っても 30 分もおれんよ。」と言ったら、ものすごく驚かれ「そうなんや、コンビニってそんな小さいお店なんや。」と言われ、その時、(あー私も親が死んで施設にずっといると社会のことは何も分からなくなってこうなるんや！)と思い、施設を出て地域で暮らしたいと思った。

(Q) 優生保護法の問題について、自分の事かとも思った時は？

(A) 佐々木千津子さんが富山に来られて、ご自分の話をされた時に「何か私の事も話したくなって、そこで自分の事かもしれない。と気づいたのだと思います。

(Q) 最高裁の判決を聴いてどう思ったか？

(A) 国が優生保護法は間違えだった。と認めたのは進歩であり、良かったと思った。しかし、公に優生保護法の被害者に国が謝罪をしてほしいと思った。

(Q) 脳性麻痺である事が、今までの生活また自立生活の中でアイデンティティに影響を与えたか、与えなかったか？

(A) 私は生まれた時から脳性麻痺なので、そんな難しい事は考えなかったのですが、ただ「もし健常者だったら・・・。」という事をよく母に言われたが、私という人間は脳性麻痺を持ったのが私だから、「もし健常者だったら・・・。」という事を言われるのは、脳性麻痺の私を否定されているようで嫌いです。

(Q) 今は、どんな生活をしているのか？

(A) 今は 24 時間のほとんどヘルパーさんに入ってもらい生活しています。1 昨年までは、夜中スポットで 1 時と 4 時に 20 分ずつ 2 回入ってもらってトイレをさせてもらっていましたが、決まった時間におトイレがしたくなるとは限らなく、我慢していたら膀胱炎に頻繁になっていたし、尿路結石にもなってしまったので支援時間数を伸ばしてもらった。それ以来、膀胱炎にはなっていない。

今現在は NPO 法人文福という団体に所属して、機関紙(障ちゃんニュース)や同人誌(まっち)などの編集に携わっています。自宅での余暇時間では、ゲームをしたり、テレビを見たり、時折だが絵も描いています。

こんな話をさせてもらった。メインで話したのは私ともう一方の話でした。それから沢山の方がそれぞれの思いを話され、皆さん、ご自分の障害を受容されてたくましく有意義に日々を過ごされている事がわかり、この Zoom 会議に参加させてもらって良かったと感じています。

関係者の方に心から感謝します。



2026 年 3 月 10 日障害者部会報告

欠席者、2名

① 総会について

総会の日にならぬ 6 月 20 日(土)が良いという案が出、午後の部は、虐待について私たち障害者が実際に受けた体験談や、見聞きした事を話してはという提案を受け、この2案を次回の文福会議に提案する事にした。

② 障害者部会員を増やすためのリーフレットについて

近日中に配りに行く場所として、富山市役所、富山県社会福祉協議会、富山市の社会福祉協議会、自立生活支援センター富山で、置きに行く係は、富山市社会福祉協議会は森田さん、富山県社会福祉協議会は中村、自立生活支援センター富山は村上さんが行く。

その他にどこへ配れば良いか考えていく。

③ 12月の部会で今年度の反省と、来年度に実施していきたいという事などを考えてくるように皆に言ったが、一人として意見を言ってこなかった。

部長の反省としては、公共交通機関の事を何もしなかったという事と、部会員を増やしたいと言いながら、増やすどころか減った事が悔しく思う。今後は部会員同士が悩みを言いあえるようにしていければと思っているが、どうすれば、そのような部会に正直わからないが、そうなるように努力はしていきたいと思っている。

④ 今年度に入って日下氏が亡くなり、会員が2人脱会され、残った会員も高齢化で活動が思うようにできていないのが現状だ。そんな中で今後部会をどう存続させていくかを考えていかないといけない。

⑤ 来年度の実施目標としては、文福を周知してもらうために学校や地域の公民館等へ出向き、自分達の話しをしたり、ミニコンサートを実施するようになっていく。

次回の部会は 4 月 7 日(火)14時から



Penko のおひとりさま 珍道中!!(Part76)

映画について

映画マニアではないですが、すぐにDVDや配信になることもあり、大画面で見たいなあと思った作品を見に行きます。

最近では、「ほどなく、お別れです」と「国宝」を見に行きました。

「ほどなく、お別れです」はSNOW MANの目黒蓮さんと浜辺美波さんが主演で、目黒蓮さんが仏頂面だけど、悲しい過去をもつ葬祭ディレクター、その下で働く浜辺美波さん(亡くなられた方の姿が見える)を取り巻く様々な形のお別れの姿が描かれています。

この映画を見て、悲しいまま終わるのではなく、現実を受け止めながら亡くなられた方・遺された方が納得のいくまで前を向いていく物語でした。見終わった後には自分の心が浄化されていく感覚を覚えまして、2回見ました。

「国宝」は、昨年6月からロングランで上映されています。上映時間は3時間で歌舞伎の女形を舞台に、二人の男性が切磋琢磨し、お互いに葛藤を抱えながら少年時代からの50年間で描かれたお話でした。

吉沢亮さんと横浜流星さんが主演をつとめられています。どちらかが人間国宝になるというクライマックス。プロの歌舞伎役者さんではないけれど、様々な演目が大画面で見られて、説明もセリフの中でありましたので、大満足です。1年半稽古をされたそうです。

先日の日本アカデミー賞にて、最優秀作品賞・最優秀監督賞・最優秀主演男優賞(吉沢亮さん)など10個の賞を獲得され、吉沢亮さんと横浜流星さんが抱き合

っている姿をテレビで拝見し、胸が熱くなりました。

3時間休憩なしで見入ったはずなのですが、首とおしりが時々痛くなり、姿勢を変えながら見ていました。一回で理解しきれないところもあり、もう一度見られる機会があったら見に行きたいと思います。

映画館は、富山市のファボーレ東宝と、石川県白山市のイオンシネマ白山を利用しました。

ファボーレ東宝は富山県内の映画館で一番利用しやすいと自分では思っています。が、郊外にあるので行き帰りはきついなあ～。車いす席の両側に手すりみたいなものが設置されていて、はまる感じです。

イオンシネマは、車いす席は前から4番目くらいにあります。

映画はもっぱらアニメが多いですが、昔の映画で自分が生まれる前の洋画が好きでして「サウンド・オブ・ミュージック」「風と共に去りぬ」(どっちも長い!!)のブルーレイディスクを持っています。あとジャッキーチェンさんの映画などが好きです。特に「スパルタンX」がカッコいいんです。ジャッキーさん、ユン・ピョウさん、サモ・ハン・キンポーさんがそろった場面も好きです。アニメでは「宇宙戦艦ヤマトシリーズ」「銀河鉄道999シリーズ」昨年両方とも石川でリバイバル上映されていて見に行きました。リアルタイムで見に行くことができなかったのがうれしかったです。



映画も出会いの一つになりますよね。感動したり、笑ったり、泣いたり、怒ったり、食べたり(?)。老若男女がすべて楽しめるエンターテインメントの一つではないでしょうか。

ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

今号からありがとうコーナーを担当することになりました Penko です。よろしく願いいたします。

4月は桜の花が見られる月です。

去年は、花冷えのまま咲いていたように記憶しています。

今年は気温が上がって暖かい中で桜の花が見られたらいいなと思っています。

新年度が始まります。新しい生活などに思いをはせていることと思います。新たな気持ちで新年度を過ごしていきたいものですね。 (Penko)

発行人:北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく}文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX(076)460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。